

NPO 法人臨床トンネル工学研究所 四国支部
ICT や AI を活用したトンネル技術に関する講演会
報告書

表記の講演会を開催しましたので、ここにご報告します。

この内容は当研究所の「2020 年度最新トンネル技術講演会」において報告された中の 3 テーマですが、未受講者からの強い要望を受けて再度講演をお願いした次第です。

多数の方々に参加いただき、非常に活発な議論の場となったことをお礼もうしあげます。

1.開催要領と参加人員

コロナ下であるため ZOOM を利用した WEB 会議方式とし、高知市のホテル・セリーズから発信しました。

支部メンバーなどは主催地の会場に集まってもらいました。

WEB 参加者が 33 名様、主催地参加者が 10 名様と、四国支部主催にもかかわらず大変盛況な講演会になりました。また、ZOOM 会議であるため、北海道から九州まで、全国から参加いただくことができました。

2.議題とプログラム

令和 3 年 9 月 17 日（金） 14：30～17：00

14:00～ 受付

14:30～14:35 開会の挨拶

14:35～15:05 講演「人口知能による切羽評価および岩種判定」

(株)大林組 中岡健一様

15:05～15:15 質疑、討論

15:15～15:45 講演「鉄道に近接する坑口部の施工における ICT の活用について」

五洋建設(株) 貞山直毅様

15:45～15:55 質疑

15:55～16:10 休憩

16:10～16:40 講演「周辺環境に配慮したトンネル掘削と ICT 技術による業務の効率化」

(株)奥村組 山田昂平様

16:40～16:50 質疑、討論

16:50～17:00 総括、閉会

3.講演会の様子

講演時間と質疑で 40 分をとってもらったため、多くの方たちから質問や意見をいただくことができました。間が空いた時には司会の方から発言をお願いして申し訳ありませんでした。というのも、WEB 会議では参加者同士で名刺交換ができないため、なるべく発言してもらおうと考えたためです。それぞれの方々に大変貴重な話題をいただき、感謝もうしあげます。

当講演会を土木学会 CPD 認定プログラムに登録していただきましたので、多くの参加者が CPD 申請されました。

演題のとおり、先端技術をトンネル工事に適用して成果を上げておられる、大変興味深い内容ばかりで、参加者から高い評価をいただきました。講演していただきました三社にあらためて感謝もうしあげます。

以上



主催地 高知 ホテル・セリーズの様子